



人いきいき

小豆本来の力を信じて

中村 裕一さん（福野 45歳）

第52回全国豆類経営改善共励会（主催・全国農業協同組合中央会など）で、小豆・インゲン・落花生などの部で70点の応募の中から最高賞の農林水産大臣賞を受賞した中村さん。「日本豆類協会の関係者をはじめ、生産者の仲間の皆さんが受賞を喜んでくれたことを、大変うれしく思います。これからも安心安全で高品質の小豆を生産し続けられるように、努力していきます」と抱負を話していました。

「私は小豆とスイートコーン、ジャガイモ、ビート、秋まき小麦を生産している農家の4代目です。心掛けていることは、生産者として作物本来の力を引き出すことと、手間を掛けて農作業

を行うことです。手間を掛けることは大変ですが、その分、良い農作物が収穫できるので、やりがいがあります」

「小豆は15年ほど前から、『エリモ167』を3ヘクタール栽培しています。10年ほど前から土壌と作物に負担をかけずに作物本来の力を引き出す効果があるバイオスティミュラント資材の葉面散布などを取り入れた栽培方法に取り組んでいます。データ分析などの試行錯誤を繰り返しながら、ようやく効果的な使用方法にたどりついたことも、今回の受賞につながったと思います」

「私自身あんこが好きなので、自分が生産した小豆が評価されて受賞できたことは、とても光栄に思います。農作業全体の見直しや効率化を図り、今以上に家族で過ごす時間を持てるように工夫を重ねていきたいと考えています。そして、次の世代が『農業は楽しそう』と思えるような働き方をめざして、これからも生産者として努力していきたいです」

地域おこし協力隊だより（小見飛翔）

地域おこし協力隊として活動してから4か月。たくさんの方々との交流を通して、日々楽しく活動しています。

6月6日には、柏丘実践会で行われたソフトボール大会に参加しました。

このソフトボール大会は、今回で46回目の開催となるとも歴史ある行事と知り、驚きました。年々、行事や集会が減少している中、同じ地域の幅広い年齢層の方々が集まり、みんなが楽しめるとても素晴らしい行事だと思いました。

スポーツには、人と人をつなげる力があると思います。

これからスポーツイベントなどの開催を予定していますので、その際は気軽に参加していただければ幸いです。



短歌 訓子府短歌会

オロムシに最高師範の農夫めて心で唄ふ江差追分 (高橋 徳男翁 八十八歳)	昼は農家へ夜は酒場で労してた今は杖つきよろける母よ	アルケミラ「仏花になるよ」と苗貰ひ焼肉あとのほろ酔ひ気分	我が里も罷の出没あいつぎし畑に残す大きな足跡	米国のテレビ討論気にかかる老いのバイデン詭弁のトランプ	牛積みし市場通ひは父横に免許取りたて十八の春	我が愛車二十二キロ車検済むあと十六万で月面に着く	昨年の生れし数は十人と限界集落始まって居り	カツオ菜にへばりつきみる蝸牛今朝も隠れて此処に生きをり
大谷 昆野 範雄	西幸町 乃里子	大町 佐藤 幸子	清住 太田 豊	西富 山本 祐一	日出 山内スミエ	旭町 瀬谷 隆夫	東幸町 吉野 良華	東幸町 中島 玲子

※作品は、「訓子府短歌会」の選定により掲載しています。



今月の1枚

町の素敵な瞬間を紹介しています。
今月は訓子府高校の「第76回訓高祭」です。



町のホームページでも写真や動画で行事などを掲載していますので、ぜひご覧ください。